

地域への融資の取り組み

当行は、地域金融機関としての社会的使命は、地域経済の発展を通じて豊かな社会づくりに貢献することであると考えています。地元中小企業や個人事業主、並びに個人のお客様の幅広い資金需要に積極的にお応えし、良質な資金の安定的な供給に努めています。

■ 地域企業のお客様へ

当行の活動に対して地域のお客様の厚いご信頼をいただき、平成17年3月末現在、当行の預金残高は4,419億円、貸出金残高は3,470億円となりました。

地域企業のお客様へのご融資は、事業性資金をはじめ、県・市制度融資のお取り扱いなど、潤沢な資金の提供に向けて積極的に取り組んでいます。

また、地域のお客様からお預かりした預金は地域のお客様に融資し、地域社会の発展に寄与したいと考えています。

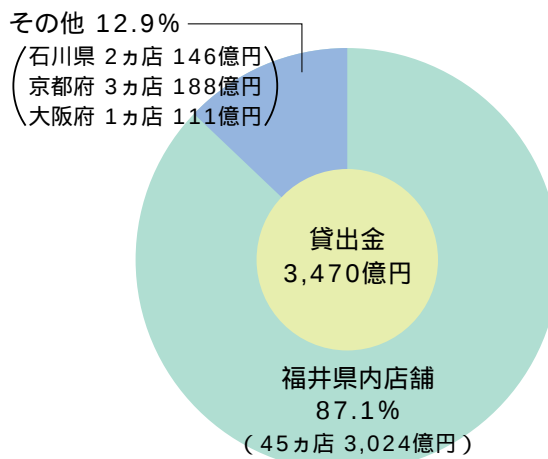
店舗所在地別の貸出金残高は、福井県3,024億円、石川県146億円、京都府188億円、大阪府111億円となっており、地元である福井県内店舗の貸出金残高は総貸出額の87.1%を占めています。

貸出金残高全体に対する中小企業や個人のお客様向けの貸出先件数は32,498件、貸出金残高は3,154億円となっており、総貸出額の約90.8%を占めています。また、福井県内店舗における中小企業や個人のお客様向けの貸出先件数は29,016件、貸出金残高は2,779億円となっており、福井県内店舗の貸出金残高の約91.9%を占めています。

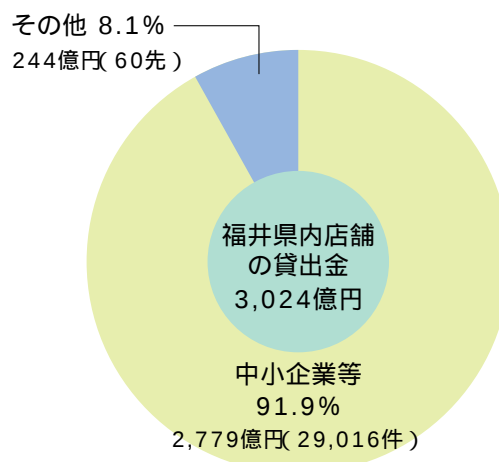
資金使途別では、設備資金1,661億円、運転資金1,809億円、業種別では、卸売・小売業、各種サービス業、不動産業、建設業、製造業の順となっており、特定の業種に偏ることなく幅広いご融資にお応えしています。



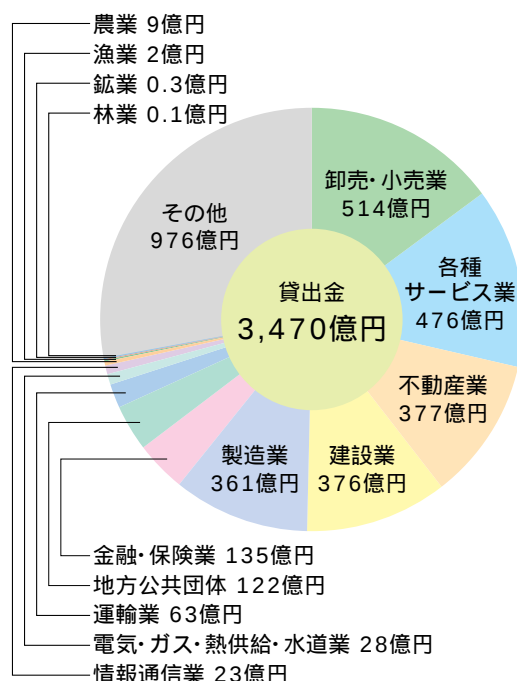
店舗所在地別の貸出金状況



福井県内店舗の貸出金状況



業種別貸出状況



創業・新事業支援に向けての取り組み

当行は地域経済活性化を図るため、中小企業金融公庫、商工組合中央金庫、日本政策投資銀行、国民生活金融公庫と業務連携・協力の覚書を結び、地域における創業・新事業支援等の分野において、協調融資や情報交換のための連携を強化しています。

また、産学官とのネットワークの構築・活用のため「北陸地区産業クラスターサポート会議」に参加しているほか、日本政策投資銀行および地域金融機関とともに「福井地域金融協議会」を発足させ、知的財産権担保融資を含むベンチャー業務、事業再生の事例や金融手法についての研究や情報交換などを行っています。

地域の中小企業のお客様とともに

平成16年4月、「法人営業部」を新設しました。法人営業部では、企業のお客様向けの新規事業融資をはじめ、創業・海外支援も含めた新事業支援のための情報収集や、地元中小企業のお客様の資金需要に対するご相談やご提案を行っています。



当行保証付無担保私募債の取扱い

当行では、資本市場における地域企業のお客様の資金調達手段として、保証協会との共同保証による保証付私募債の引き受けや、「当行保証付無担保私募債」を取り扱いし、中長期的事業戦略を検討される地元中堅優良企業の皆様の安定した資金調達に積極的に関与しています。

地域の中小企業のお客様向け新商品の発売

中小企業金融再生に向けた取り組みを強化するため、担保・保証人へ過度に依存しない融資として、福井県信用保証協会特別保証制度「スピード保証」、石川県信用保証協会特別保証制度「サポートファンド保証制度」を取り扱いしています。

福井県信用保証協会特別保証制度「スピード保証」商品概要

対象者	中小企業信用保険法第2条1-1、1-2に該当する個人および法人であって福井県内において同一事業を1年以上営んでいる方。
融資期間	7年以内
資金使途	事業経営に必要な運転資金および設備資金。ただし、設備資金については、原則として不動産取得資金は対象となりません。
融資限度額	5,000万円。ただし、福井県信用保証協会一般保証の無担保保証枠の範囲内
金利	当行所定利率
保証人	個人の場合は1名以上、法人の場合は代表者を含めて2名以上徴求する。ただし、原則として第三者保証人は徴求しません。
担保	不要
提携協会	福井県信用保証協会
融資形式	証書貸付

石川県信用保証協会特別保証制度「サポートファンド保証制度」商品概要

対象者	1年以上県内に事業所を有し、引き続き同一の事業を営んでいる中小企業者の方。
融資期間	7年以内
資金使途	事業経営に必要な運転資金および設備資金。ただし、設備資金については、原則として不動産取得資金は対象となりません。
融資限度額	5,000万円。ただし、普通保証および経営安定関連保証の無担保保証枠の範囲内
金利	当行所定利率
保証人	個人の場合は1名以上、法人の場合は代表者を含めて2名以上徴求する。ただし、原則として第三者保証人は徴求しません。
担保	不要
提携協会	石川県信用保証協会
融資形式	証書貸付または手形貸付

平成16年9月、個人事業主・中小企業の事業性資金にスピーディーに対応するため、無担保・第三者保証人不要、FAXでもお申し込みいただける、「ふくほう事業者ローン『勇士500』」を発売しました。

また、平成16年11月、キャッシュフロー、自己資本状況などに注目することにより、無担保・第三者保証人不要とした新しい事業性融資「ふくほうビジネスローン『勇士2000』」を発売しました。

■ 個人のお客様へ

個人のお客様向けには、住宅ローンをはじめ、マイカーのご購入資金やお子様の教育資金向けローンのほか、お使いみち自由なカードローンやフリーローンなど、暮らしのニーズやライフステージに合わせた商品を豊富にとりそろえています。

ふくほう住宅ローン

お住まいの夢をかなえるお手伝いをさせていただくため、新築および増改築、建売住宅・中古住宅の購入、住宅用土地の購入など、幅広い資金のニーズにお応えできる住宅ローンをご用意しています。

金利選択型住宅ローンは、2年、3年、5年、10年間のいずれかの固定金利を選んでいただき、固定金利期間終了後は市場の金利情勢を見て、再度、固定金利か変動金利を選んでいただくタイプの住宅ローンです。金利選択型住宅ローンの最優遇金利は2年固定で0.9%です。給与振込・口座振替・積立など、一定の条件を満たされた場合、基準金利から最大0.7%の優遇となり、住宅取得控除が適用されますと、ほぼ2年間の金利負担は実質ゼロとなります（平成17年7月15日現在）。また、3年固定、5年固定、10年固定も最大1.0%の金利優遇幅を設定しており、より幅広くお客様のご要望にお応えできるようになっています。

基準金利は毎月見直しております。くわしくは窓口にお問い合わせください。

そのほか、増改築や修繕、インテリアや浴室などの設備資金にお使いいただけるリフォームのためのローンもご用意しています。

金利選択型住宅ローン	お客様のご選択により借入時および借入期間中の金利方式について、変動金利・固定金利（特約期間）相互の変更が複数回、自由に選択できる住宅ローンです。
変動金利型住宅ローン	当行住宅ローン基準金利に合わせて、毎年2回ご融資利率を変更する住宅ローンです。
固定金利型住宅ローン	最長25年。お借り入れ時の利率は、返済終了時まで変わりません。
「じゅうわり君」	住宅金融公庫協調住宅ローンです。
住公買取型住宅ローン「フラット35」	最長35年の固定金利で最高8,000万円までお借入れできます。「じゅうわり君フラット」のご利用により100%融資も可能です。

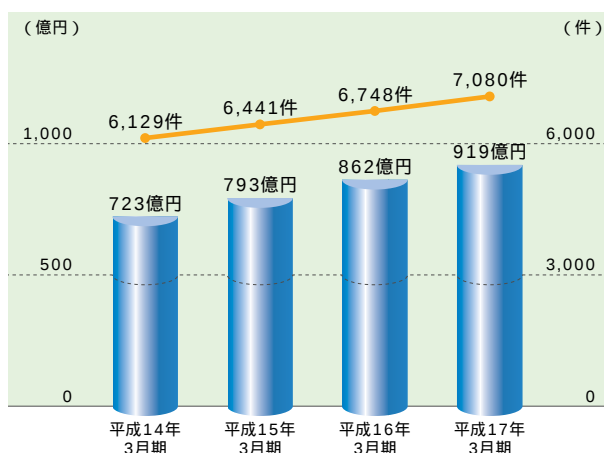
ふくほう住宅ローンならこんなことも...

- ・建物完成前でも、融資額の80%までご利用になれます（つなぎ融資をご利用いただけます）
- ・住宅建設の場合、お借入当初最長1年間の元金返済据置が可能です（毎月のお利息は引き落としされます）
- ・当行住宅ローンを5年以上返済している方には、700万円まで無担保・無保証料でリフォーム資金が借り入れできる特典がつきます（借り入れ時に審査が必要です）

当行の住宅ローンは、平成17年3月末現在、7,080件（前期末比4.9%増）919億円（前期末比6.6%増）となっており、地域のお客様のお住まいに関するニーズにお応えしています。



住宅ローン残高および件数の推移



ローンアドバイザーによるご提案・ご相談

お客様の大切なお住まいなど、ローンに関わるご相談に対して適切なアドバイスとお手伝いをさせていただくため、ローンアドバイザーを配置しています。どうぞお気軽にご相談ください。

また、ホームページでは、動画による商品案内サービスを行っています。住宅ローンなどの商品案内を行っていますので、ぜひご覧ください。



ローンアドバイザー

ローンに関するご相談は

ローンは みんな ふく ほう

 0120-683-294

受付時間 9:00～18:00(銀行休業日は除きます。)

学資ローン「まなび隊!」

学資ローン「まなび隊!」を平成17年2月に発売しました。お使いみちは授業料や仕送りなど教育関連資金全般ですが、入学時には50万円まで支度金として自由にご利用いただけます。ご融資金額は最高500万円、ご融資期間は最長11年6ヵ月(うち当座貸越:最長4年6ヵ月、証書貸付:最長7年)、金利は変動金利です。ご返済方法は、在学中はお利息のみ(任意のご返済もできます)、ご卒業後は元利均等分割返済です。

マイカーローン「Bo~n!」

マイカーローン「Bo~n!」のご融資金額は最高500万円、ご融資期間は最長7年、変動金利または固定金利を選択いただけます。お使いみちは自家用自動車および50cc以上のバイク購入資金、ガレージの新築、車検・免許取得費用、ご利用中の車ローンの借換資金などで、ご融資金額の2割(50万円上限)をご自由にお使いいただけます。また、保証会社との提携によるロードサービスの特典があります。



カードローン「なんでもザウルス」

個人向け無担保ローンのカードローン「なんでもザウルス」を平成16年10月に発売しました。ご融資金額は10万円以上200万円以内、当座貸越タイプです。お急ぎのお客様には、お申し込み受付から30分以内に審査結果を回答いたします。「なんでもザウルス」には証書貸付タイプのフリーローンもご用意しています。



ローンのお申込み、お問い合わせは

ローンは 何でも ふく ほう

 0120-687-294

受付時間 9:00～21:00(平日)

9:00～17:00(土日祝日)

FAXから 0120-787-294(24時間・年中無休)

インターネットから <http://www.fukuho.co.jp>

地域サービス充実への取り組み

■店舗ネットワークの充実

地域に密着した金融機関として、お客様の幅広いニーズにお応えし、よりいっそう利便性に寄与するため、店舗ネットワークの充実と効率的な構築を行っています。平成17年7月1日現在、店舗およびキャッシュコーナーの設置状況は次のとおりです。

設置場所、稼動時間等については、P.24～P.27をご参照ください。

店舗

福井県内45カ店、石川県内2カ店、

京都府3カ店、大阪府1カ店、合計51カ店

- ・平成16年度以降、店舗数に変更はありません。
- ・平成16年11月、舞鶴支店を新築移転しました。



新しい舞鶴支店

キャッシュコーナー

店舗内51カ所、店舗外61カ所、合計112カ所121台
平成16年度以降に新設したキャッシュコーナーは、次のとおりです。

- ・福井県立病院共同出張所CD（福井市）
- ・JR福井駅共同出張所ATM（福井市）

「後方確認ミラー」と「覗き見防止フィルム」の取り付け

お客様がより安心してキャッシュコーナーをご利用いただけるよう平成17年4月から順次、左右後方から操作画面を見えにくくする「覗き見防止フィルム」の取り付けを行っています。また、ATM操作中でも後方の不審者等を確認できる「後方確認ミラー」の取り付けを行いました。

バリアフリーへの取り組み

当行では、バリアフリーへの取り組みとして、ご高齢の方や身障者の方にも安心してご利用いただけるよう新改築の店舗を中心にスロープや手すり、点字誘導ブロックなどの設置を進めています。

ATM・CDご利用限度額の引き下げ

お客様の財産をお守りするために、盗難や偽造キャッシュカードの不正を抑制する対策の一つとして平成17年6月27日から、1日あたりのご利用限度額を次のとおり引き下げました（平成17年7月20日現在）

対象となるお取引	1日あたりのご利用限度額
現金お引出し（通帳支払サービスを含む） 当行ATM、提携金融機関ATM、郵貯ATM	合計で 100万円以内
お振込・お振替	
デビットカードご利用	

100万円を超えるお取引をご希望の場合は、通帳・印鑑をご用意いただきお近くの当行窓口にお申し出ください。

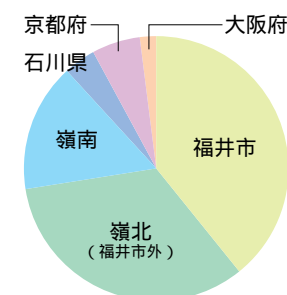
また、より安全性を高めるために、お客様が1日あたりのご利用限度額の変更（減額または増額）を希望される場合は、「1万円から100万円以内の範囲（1万円単位）」で任意に何度でも変更することができます。（ご利用限度額を設定しない場合は、上限金額の「100万円」といたします。ご利用限度額の変更を希望されるお客様は、当行窓口でお問い合わせください。

今後、ご利用限度額は変更する場合があります。

ATMでできること

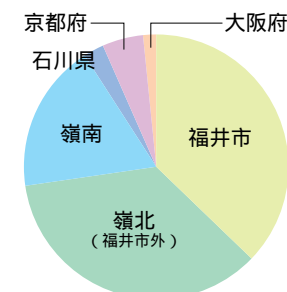
- ・お引出し 福邦銀行のキャッシュカード、ローンカードによるお引出し。また、全国の提携金融機関のカードによるお引出しができます。
- ・ご入金 福邦銀行のキャッシュカード、通帳によるご入金。
- ・お振込み お振込みおよびお振込みのご予約
- ・振替入金 ・残高照会 ・通帳記入 ・暗証番号変更
- ・郵貯キャッシュカードでのお引出し、ご入金および高照会
- ・クレジットカードによるキャッシングおよびご返済

店舗の設置状況



	店舗数	比率
福井市	20	39.2%
嶺北(福井市外)	17	33.3%
嶺南	8	15.7%
石川県	2	3.9%
京都府	3	5.9%
大阪府	1	2.0%
計	51	100%

ATM・CDの設置状況



	台数	比率
福井市	45	37.2%
嶺北(福井市外)	43	35.5%
嶺南	22	18.2%
石川県	3	2.5%
京都府	6	5.0%
大阪府	2	1.6%
計	121	100%

■ 利便性の向上

ふくほうWEBバンキングサービス

パソコンや携帯電話（iモード・EZweb・ボーダフォンライブ!）で、残高・入出金明細照会、お振込み・お振替サービスや店舗のご案内などの情報サービスをご利用いただけます。お振込手数料は、当行本支店間宛は無料、他行宛は窓口・ATMご利用よりもお得です。



ふくほうインターネットバンキングセンター

バンク は ふ く ほう

0120-898-294

受付時間 9:00～17:00（銀行休業日は除きます。）

携帯・PHSは 0776-25-5143

投資信託商品のラインナップ

大切な資産運用のお手伝いのため、「グローバル・ソブリン・オープン」「チャイナ・ロード」など、投資信託商品を数多くラインナップしています。一定の金額で毎月購入できる定時・定額購入サービスもご用意しています。窓口および「預り資産チーム」では投資信託商品などのご提案・ご相談を行っています。



福井県内景況調査の発行

経営指標としてお役立ていただくため、福井県内の事業所を対象に景況調査を実施し、「福井県内景況調査」を定期的に発行しています。

■ 福邦クラブの活動

福邦クラブは、会員の皆様を中心にした組織で、地域の企業経営者や個人事業主のお客様同士の交流・情報交換など、各種経営にかかわる情報提供サービスを行っています。具体的には、異業種間交流会であるブロックセミナー・顧問税理士による無料税務相談・講演会や社員教育セミナーの開催・会報誌「福邦メディア」発行を通じた会員のお客様への情報提供など、企業経営を側面から支援しています。また平成16年12月、「福邦銀行ビジネス情報交換制度」を制定し、ビジネス・マッチングに向けた取り組みを行っています。会員数は平成16年度中559社増加し、平成17年3月末現在2,016社の皆様にご参加いただいています。

平成16年度 福邦クラブ活動

開催日	内容（テーマ）	講師・演奏者	来場者数
5月14日	接遇セミナー （信頼されるビジネスパーソンを目指して）	経営士・教育コンサルタント 藤井美保代氏	127名
5月18日	クロッシングセミナー	—	108名
6月13日	第8回福邦銀行オーケストラコンサート	オーケストラ・アンサンブル金沢ほか	1,394名
9月16日	レディースセミナー （顔と心と体について）	フェイシャルセラピスト かづきれいこ氏	180名
10月21日	講演会（徳性を失った日本どう蘇る）	国際エコノミスト 水野隆徳氏	42名
11月26日	同業者セミナー （儲かるハウスメーカーのプロ営業マン）	経営コンサルタント 吉田 卓氏	170名
合計			2,021名

平成16年度 福邦クラブブロックセミナー

開催日	開催地区	来場者数
7月 8日	丹南ブロック	86名
7月22日	敦賀ブロック	53名
8月 3日	坂井・奥越ブロック	94名
10月 7日	舞鶴ブロック	54名
10月12日	小浜ブロック	82名
3月 3日	福井2ブロック	99名
3月17日	福井3ブロック	111名
合計		579名

■ 年金についてのご相談について

当行では、年金専任担当者ライフ・パートナーを配置し、年金のお受取りを予定されているお客様や、すでにお受取りをされているお客様の年金についての各種ご相談を承っています。また、各営業店では定期的に社会保険労務士による年金無料相談会を開いています。年金無料相談会は福井県内45カ店、石川県内1カ店および舞鶴市内2カ店において年2回開催しています。平成16年度は、95回開催し、1,424名のお客様にお越しいただきました。

地域振興への取り組み

■ 経営支援の取り組み

当行では、お取引先企業の経営改善計画に対するアドバイスやご提案、福井県中小企業支援協議会との連携、外部コンサルタントのご紹介、人材派遣などを通じて健全な経営に向けてのサポートを行い、新たな不良債権の発生防止に努めています。お取引先企業に対する経営相談・支援機能を強化するため、企業支援および事業再生を専門に担当する「企業経営支援室」を設置し、早期事業再生に向けて取り組みの強化を図っています。

平成15年4月から平成17年3月までで59先がランクアップとなりました。

経営改善支援の取り組み実績

(平成15年4月～平成17年3月)

(単位:先数)

	期初 債務者数	うち 経営改善支援 取組み先 α	αのうち期末 に債務者区分 が上昇した先 数 β	αのうち期末 に債務者区分 が変化しなかつた先 数 γ
正常先	3,406	10		6
要 注 意 先				
うちその他要注意先	1,153	209	40	136
うち要管理先	130	41	14	22
破綻懸念先	162	17	5	10
実質破綻先	152	0	0	0
破綻先	96	0	0	0
合 計	5,099	277	59	174

平成16年度(16年4月～17年3月)

(単位:先数)

	期初 債務者数	うち 経営改善支援 取組み先 α	αのうち期末 に債務者区分 が上昇した先 数 β	αのうち期末 に債務者区分 が変化しなかつた先 数 γ
正常先	3,518	2		2
要 注 意 先				
うちその他要注意先	1,075	154	23	118
うち要管理先	108	32	11	16
破綻懸念先	164	18	5	12
実質破綻先	151	—	—	—
破綻先	86	—	—	—
合 計	5,102	206	39	148

平成16年度下期(16年10月～17年3月)

(単位:先数)

	期初 債務者数	うち 経営改善支援 取組み先 α	αのうち期末 に債務者区分 が上昇した先 数 β	αのうち期末 に債務者区分 が変化しなかつた先 数 γ
正常先	3,667	1		1
要 注 意 先				
うちその他要注意先	997	129	13	110
うち要管理先	70	26	4	18
破綻懸念先	163	14	3	10
実質破綻先	154	0	—	—
破綻先	77	0	—	—
合 計	5,128	170	20	139

■ 地域への出資

当行では、地域金融機関として地域の安定的な発展に寄与するため、インフラ整備のための出資を行っています。福井県内においては平成17年3月末現在、福井ケーブルテレビ、丹南ケーブルテレビ、嶺南ケーブルテレビ、丸岡春江タウンテレコム、えちぜん鉄道などへ出資を行っています。

■ 地域への支援

福井市の代表的な祭り「ふくい春まつり越前時代行列」や武生市の「たけふ夏まつり」など、各地域の伝統行事に積極的に参加しています。



平成16年7月の福井豪雨災害では、地域の復興に役立てていただくため、福井県へ義援金の贈呈などを行いました。また、行内においても福井県青少年育成一灯基金や福井県共同募金会などへの募金活動を行っているほか、献血活動にも積極的に取り組んでいます。平成17年4月には、地域文化振興のため、福邦クラブ主催「第9回福邦銀行オーケストラコンサート」を開催し、ペア100組200名様を含め、800名様を無料でご招待しました。



より信頼をいただくための取り組み

■ 情報開示

当行は透明性の高い経営を目指し、広く積極的に情報を開示しています。経営情報や活動状況は、このディスクロージャー誌「FUKUHO REPORT 2005」のほか、ミニディスクロージャー誌「こんにちは福邦銀行です」でご案内しています。

インターネットホームページでは、経営情報をはじめ新商品・キャンペーン・金利情報や決算短信、四半期情報、「リレーションシップバンキングの機能強化計画」の要約と進捗状況（要約）経営改善支援の取り組み実績等のほか、本誌およびミニディスクロージャー誌をPDFファイルでご覧いただけます。

また、ガバナンスの強化を図るため、平成16年4月、「適時開示マニュアル」を策定し、株式公開銀行と同様の開示（タイムリーディスクロージャーを含む）のための体制を整備し、決算に関する重要な情報など、会社情報の適時開示を実施しています。



ホームページアドレス <http://www.fukuho.co.jp>

■ 笑顔・あいさつ1番銀行への挑戦

当行では、信頼第一の銀行を目指して「笑顔・あいさつ1番銀行への挑戦」運動を展開しています。

各営業店では、お客様への日ごろの感謝を込めて「お客様感謝デー」を開いています。工夫を凝らしたイベントや、お客様の趣味の作品展なども催しています。



■ 環境保全への取り組み

企業としての社会的責任から環境を配慮し、総合口座などの通帳に再生利用ができるエコクロスを採用しています。そのほか平成元年から実施している美化運動「福邦ゆめ作戦」では、全行員が各地域の清掃に継続的に取り組むなど、環境を配慮した保全活動を行っています。



■ ペイオフについて

当行は、地域のお客様に安心してお取引いただけるよう、経営の健全性と安全性を重視し、経営体質の強化と収益基盤の拡充に努めています。

なお、平成17年2月、1,000万円以上のご預金についても全額保護される預金として「決済用普通預金」のお取り扱いを開始しました。

「預金保険制度」による預金保護の姿

商品の分類		期間	平成17年3月未まで	平成17年4月～
預金保険の対象預金等	当座預金 普通預金 別段預金		全額保護	利息がつかない等の3要件を満たす預金（注1）は全額保護（恒久措置）
	定期預金 貯蓄預金 通知預金 定期積金 納税準備預金 等		合算して元本1,000万円（注2）までとその利息等（注3）を保護 （1,000万円を超える部分は、破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われます（一部カットされることがあります））	
対象外預金等	外貨預金 譲渡性預金 等		保護対象外 （破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われます（一部カットされることがあります））	

（注1）決済用預金といいます。「無利息、要求払い、決済サービスを提供できること」という3要件を満たすものです。

（注2）当分の間、金融機関が合併を行ったり、営業の（事業）の全てを譲り受けた場合には、その後1年間に限り、当該保護金額が1,000万円の代わりに、「1,000万円×合併等に関わった金融機関の数」による金額となります（例えば、2行合併の場合は2,000万円）

（注3）定期積金の給付補てん金、金銭信託における収益の分配等のうち一定の要件を満たすもの等も利息と同様保護されます。

資産の健全化に向けて

景気の停滞局面が長引くなか、金融機関を取り巻く経営環境は引き続き厳しいものと見込まれます。当行は、不良債権の早期処理を重要な経営課題として取り組んでおり、今後も適切な信用リスク管理により、新たな不良債権の発生防止と処理の促進をはかり、資産の健全化に全力で取り組んでまいります。

■金融再生法開示債権

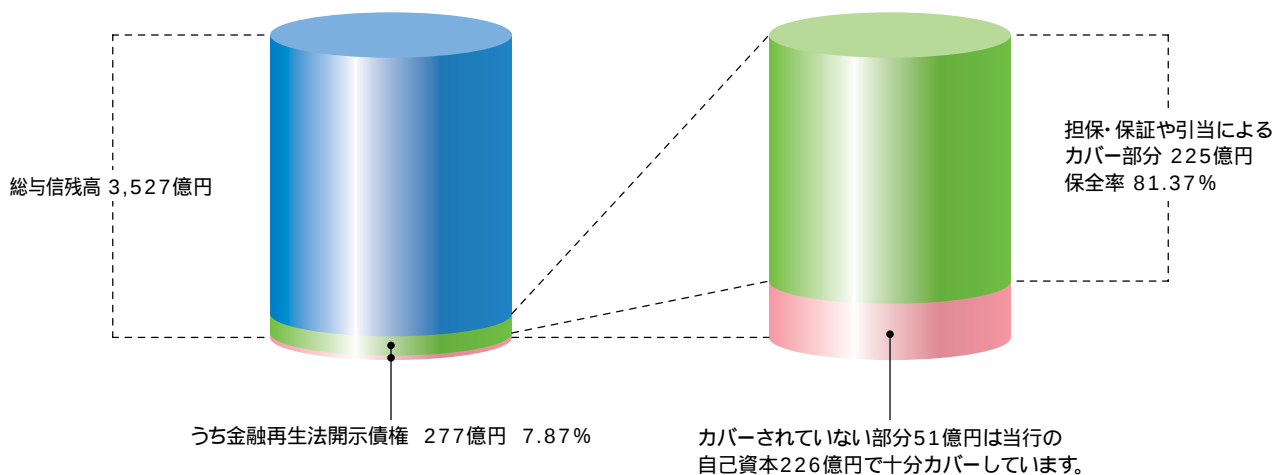
金融機能の再生のための緊急措置に関する法律（金融再生法）に基づき、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」「正常債権」を開示しています。

金融再生法では、貸出金、外国為替、その他資産中の未収利息および仮払金並びに支払承諾見返の各勘定に計上されるもの並びに欄外に注記することとされている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券（使用貸借または賃貸借契約によるものに限る。）を対象としています。当行の金融再生法開示債権合計277億円には、担保保証のほか、将来的に損失を被ることに備え、すでに費用として引当てしている部分も含まれています。開示債権に対する保全額は225億円、保全率は81.37%あり、将来的な損失にも十分に備えています。

金融再生法開示債権（単位）

（単位：百万円）

	平成16年3月末	平成17年3月末
金融再生法開示債権合計	29,484	27,771
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,008	6,539
危険債権	10,692	13,316
要管理債権	9,783	7,915
保全額	25,189	22,599
貸倒引当金	6,212	6,336
担保保証等	18,976	16,262
総与信残高（期末）	346,654	352,749



用語解説

金融再生法開示債権

破産更生債権及びこれらに準ずる債権……破産、会社更生、再生手続などの事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権

危険債権……債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権

要管理債権……・3ヵ月以上延滞債権（元金または利息の支払が約定支払日の翌日を起算日として3ヵ月以上延滞している貸出債権）
・貸出条件緩和債権（経済的困難に陥った債務者の再建または支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定などを行った貸出債権）（注）いずれも を除く。

正常債権……債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、上記以外に区分される債権

■ リスク管理債権

銀行法に基づき、「破綻先債権」「延滞債権」「3ヵ月以上延滞債権」「貸出条件緩和債権」を開示しています。リスク管理債権では貸出金だけを対象としています。なお、担保保証等による保全の有無など回収の可能性に関わらず開示しており、すべての金額が回収不能となるものではありません。

リスク管理債権

(単位:百万円)

	平成16年3月末		平成17年3月末	
	単 体	連 結	単 体	連 結
リスク管理債権合計	28,424	28,424	26,821	26,821
破綻先債権	3,022	3,022	1,249	1,249
延滞債権	15,618	15,618	17,656	17,656
3ヵ月以上延滞債権	174	174	190	190
貸出条件緩和債権	9,608	9,608	7,725	7,725

用語解説

リスク管理債権

破綻先債権.....会社更生法・民事再生法による更生・再生手続開始の申立て、破産の申立てまたは整理開始・特別清算開始の申立てなどの事由が生じている貸出金

延滞債権.....元本または利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により、元本または利息の取立または弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸

出金（ および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予している貸出金を除く）

3ヵ月以上延滞債権.....元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3ヵ月以上遅延している貸出金（ を除く）

貸出条件緩和債権.....債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金（ ～ を除く）

■ 自己査定と償却・引当について

自己査定は、資産の内容を正確に把握するために、貸出先等の債務者の財務・経営状況に応じて「破綻先」「実質破綻先」「破綻懸念先」「要注意先（「要管理先」と「要管理先以外」）」「正常先」に区分し、さらに各区分の各債権を回収可能性に応じて4種類に分類します。当行では厳格な自己査定により、適正な償却・引当を行っています。

なお、自己査定の結果は内部監査を行い、さらに監査法人による外部監査を受けています。

自己査定と開示債権の関係 平成16年度(単体)

「自己査定の債務者区分に対する債権」「金融再生法開示債権」「リスク管理債権」の関係は概ね次のとおりです。

(単位:百万円)

	自己査定	金融再生法開示債権	リスク管理債権
定 義	金融検査マニュアル	金融再生法施行規則第4条	銀行法施行規則第19条の2
基 準	債務者単位	債務者単位（但し、要管理債権は債権単位のみ）	債権単位
対 象	全与信	全与信（但し、要管理債権は貸出金のみ対象）	貸出金のみ
区 分	破綻先	破産更生債権及びこれらに準ずる債権 6,539	破綻先債権 1,249
	実質破綻先		延滞債権 17,656
	破綻懸念先	危険債権 13,316	
	要注意先	要管理債権 7,915	3ヵ月以上延滞債権 190
	正常先	正常債権 324,978	貸出条件緩和債権 7,725
		合計 352,749	(リスク管理債権以外の貸出金)(320,234)
			合計 347,055

より信頼をいただくための取り組み

■ リスク管理体制

銀行業務を営んでいく上では、信用リスク、市場リスクをはじめとしたさまざまなリスクを伴いますが、これらのリスクは金融環境の変化によってますます多様化していくとともに銀行に及ぼす影響も大きくなってきています。こうした中で、お客様のご希望にお応えしながら健全性の確保、収益力の強化を実現していくには、あらゆるリスクを的確に把握して管理することが重要です。当行では、リスク管理を経営の重要課題の一つとし、健全性の向上の観点からリスク管理の充実に努めています。具体的には、当行のリスク管理体制全般を定めた「リスク管理基本規定」においてリスクの種類ごとに担当部署を定めるとともに、リスク統括部がリスク管理の統括部署として各リスク管理状況の把握や有効性等について定期的に検証しています。

信用リスク管理

信用リスクとは、お取引先の経営状態の悪化などにより貸出金などの元本・利息が回収できなくなるリスクをいいます。信用リスク管理体制については、信用リスクを的確に把握し、厳正に管理するため、審査管理部門を営業推進部門から明確に分離する体制を構築しています。また、信用リスクに関する事項を審議する機関として審査会を設置しています。この審査会は、経営陣および審査部門メンバーから構成されており、個々の貸出先のリスクの状況に基づき、的確かつ迅速な与信判断を行える管理体制としています。さらに「自己査定」を通してお取引先の実態把握に努めています。加えて、与信リスクの分散を図るため、業種別・大口与信グループ別等の与信ポートフォリオの管理を行っています。融資については基本原則（安全性、収益性、流動性、成長性、公共性）を遵守し、事業計画や資金使途の妥当性、返済能力、担保などを総合的に評価しています。また、企業財務分析診断システムに加え、不動産担保評価システムによる担保評価額の定期的見直しなどシステムサポートも充実させ、各種研修制度を活用した行員のレベルアップと併せて信用リスク管理能力の向上に努めています。

市場関連リスク管理

市場関連リスクとは、金利リスク、価格変動リスクおよび為替リスクからなっており、金利、有価証券の価格および為替など、様々な市場のリスク・ファクターの変動により、保有する資産の価値が変動し、損失を被るリスクのことです。こうした市場関連リスクは、損失のリスクを伴う反面、収益の源泉でもあり、市場関

連リスクをあらかじめ定めた範囲内に収めつつ、適切にコントロールしながら安定的な収益の確保を図るよう努めています。

流動性リスク管理

流動性リスクとは、銀行に対する信用の低下等により、必要な資金の確保が困難となったり、資金の確保に通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされたりする「資金繰りリスク」と、市場の混乱等により、市場において取引ができなかったり、通常より著しく不利な価格での取引を余儀なくされたりすること等によって損失を被る「市場流動性リスク」があります。当行では、安定した資金繰りを行うため運用・調達の状況を的確に把握し円滑な資金繰りに万全を期しています。

ALM

当行では、資産（Asset）負債（Liability）の総合管理（Management）の強化を図るため、ALM委員会を毎月開催して金利予測を行うとともに、マーケットリスク等について、金利リスク分析、シミュレーション分析等の多面的な分析をもとに検討を行っています。さらに、ALM委員会の下部組織として、ALM小委員会を開催し、ALMに関する事項について協議・検討し、ALM委員会に報告、提言しています。当行は、このようなALM管理体制において、変動する経済や金利情勢を常に意識した上で、銀行全体の資産・負債のバランスについて機動的に対応できる体制を敷き、リスク管理の高度化に努めています。

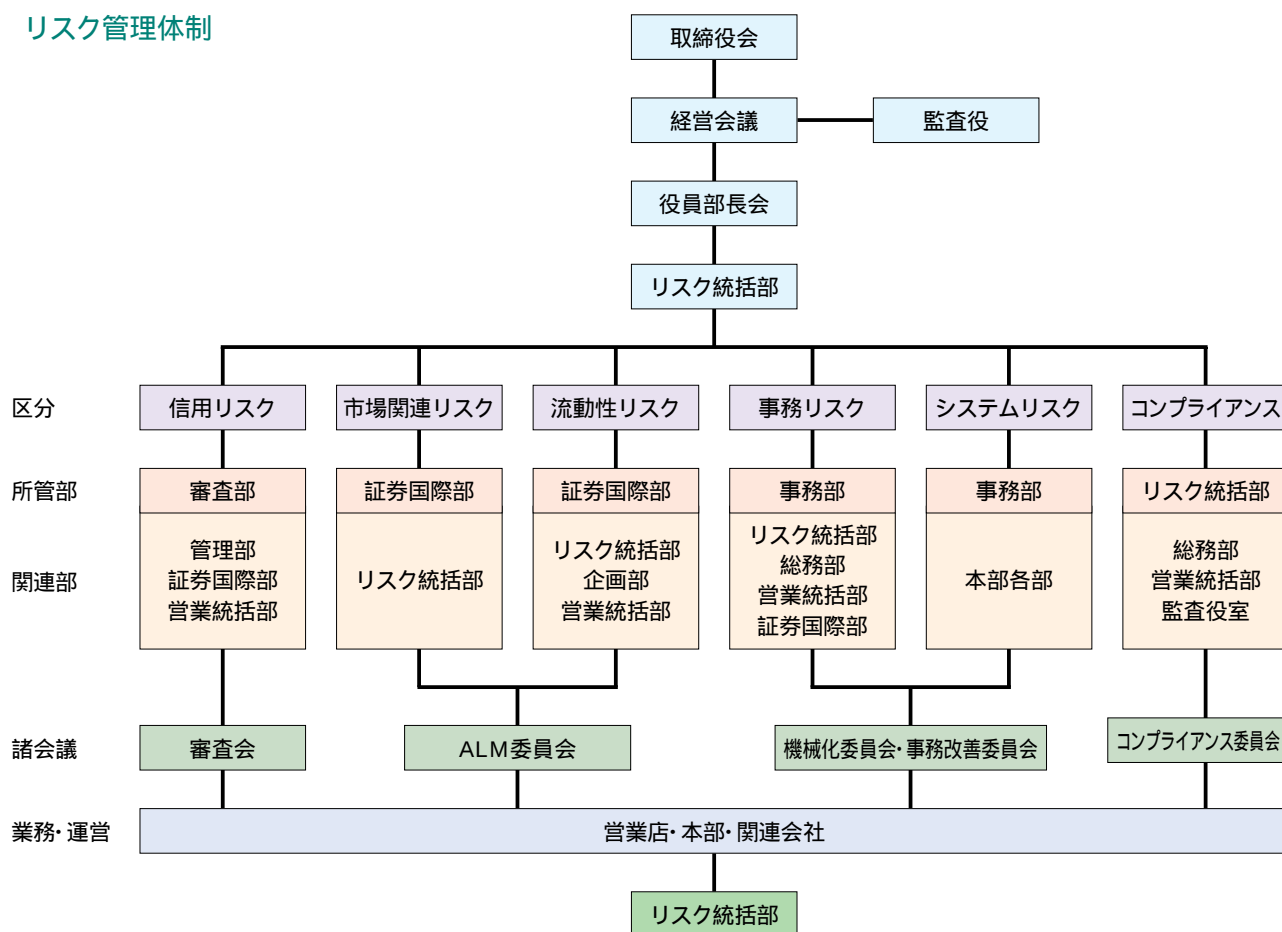
事務リスク管理

事務リスクとは、役職員が正確な事務を怠ったり、事故・不正等を起こすことによって損失を被るリスクです。当行では、事務処理の厳正化や事故・トラブル防止の観点から、内部監査や店内検査を実施し、相互牽制体制と厳正な事務処理体制の確立に努めています。

システムリスク管理

システムリスクとは、コンピュータシステムのダウンや誤作動によって損失を被るリスク、あるいはコンピュータが不正に使用されることによって損失を被るリスクです。当行では、ホストコンピュータなどの重要機器に関しては、地震災害に備えて倒壊対策を実施し、営業店とコンピュータセンターとを結ぶ通信回線を二重化しています。さらに、データの厳正な管理、不正使用防止に関しても各種規定の整備等により、セキュリティ管理体制の強化を図っています。

リスク管理体制



■ コンプライアンス(法令等遵守)に対する考え方

金融機関を取り巻く環境が変化し、金融自由化が進展する中、自己責任の徹底が強く求められています。このような状況の中、当行の公共的使命や社会的責任を役職員が強く認識するとともに、高い倫理観を持って行動することが重要であり、役職員全員が、コンプライアンス、すなわち法令や社会的規範の遵守に徹した企業風土の醸成を確立していくことが必要であると考えています。

コンプライアンス体制

当行では、効果的なコンプライアンス体制を確立するため、リスク統括部をコンプライアンス統括部署と定めるとともに、本部各部および全営業店の部店長をコンプライアンス責任者、次席者をコンプライアンス管理者に任命し、その役割を明確にしています。また、本部各部でコンプライアンス体制整備のための実践すべき項目をまとめた「コンプライアンスプログラム」を毎年策定し、定期的にコンプライアンス委員会で協議

するとともに、進捗状況を定期的に取り締役会へ報告しています。また、役職員の遵法意識を一層高めるため、コンプライアンス関連のマニュアルを一つにしたコンプライアンスマニュアルを配付して勉強会を行い、研修等により、徹底を図っています。今後とも、当行を取り巻く環境の変化に素早く対応し、随時見直しをしながら、お客様の信頼をいただくために体制の充実に取り組んでまいります。

■ 個人情報保護体制

平成17年4月に完全実施された「個人情報保護法」に対応すべく「プライバシーポリシー」「利用目的」「共同利用先」を当行ホームページや店頭に公表し、「個人情報保護基本規定」等の規定や要領を整備して「個人情報統括責任者」をリスク統括部担当役員と定め、行内体制整備を行いました。

お客様の情報の管理には細心の注意を払い、お客様が安心してご利用いただけるよう行内体制の充実に取り組んでまいります。

■ プライバシーポリシー (個人情報保護宣言)

福邦銀行では、お客様の個人情報の保護の重要性を認識し、次のように「プライバシーポリシー」を定め、取り組んでおります。

1. 個人情報の収集・利用・提供

お客様の個人情報は、利用目的の範囲内で収集し、当該利用目的以外には利用いたしません。また、お客様の個人情報は、適切な方法で管理し、特別の事情がないかぎり、お客様のご承諾なく第三者に開示・提供いたしません。

2. 個人情報の適正管理

お客様の個人情報は、紛失・破壊・改ざん・漏えい・不正アクセス等が生じないよう万全のセキュリティ対策を講じ、適正に管理いたします。

3. 個人情報に係る法令等の遵守

個人情報保護法などの法令・金融庁ガイドラインその他の規範を遵守し、お客様の個人情報を取扱いいたします。

4. 個人情報の委託

お客様の個人情報に関する取扱いを外部に委託する場合は、適正な取扱いを確保するための契約の締結や実施状況の点検等を実施いたします。

5. 個人情報の開示・訂正・削除等

お客様の個人情報について、開示・訂正・削除・利用停止等をご希望される場合は、状況等お伺いした上で、必要なお手続きをご案内させていただきます。

6. 個人情報保護体制の見直し・改善

お客様の個人情報の取扱いが適正に行われるよう、役員への教育を徹底すると共に、個人情報保護体制について、定期的に見直し・改善を実施いたします。

7. 本件に関するお問合せ

本件に関するお問合せ先は下記のとおりです。

〒910-0023 福井市順化1-6-9

株式会社 福邦銀行 顧客サービスセンター

TEL(0776)25-5127

当行は、金融分野における認定個人情報保護団体である全国銀行個人情報保護協議会の会員です。当協議会の苦情・相談窓口（銀行よろず相談所）では、会員の個人情報の取扱いについての苦情・相談をお受けしております。

全国銀行個人情報保護協議会

<http://www.zenginkyo.or.jp/pdpc>

苦情・相談窓口 TEL (03)5222-1700

またはお近くの銀行よろず相談所

■ 金融商品の販売等に関する 勧誘方針

福邦銀行は、次の項目を遵守し、金融商品の適正な勧誘に努めます。

- お客様の知識、経験、財産の状況に照らし、適切な商品の勧誘を行います。
- お客様にとって不都合な時間帯やご迷惑な場所などで勧誘を行いません。
- お客様ご自身のご判断でお取引いただけるよう、商品内容やリスク内容等重要な事項について十分理解していただくよう努めます。
- 断定的判断を提供したり事実でない情報を提供するなど、お客様の誤解を招くような勧誘は行いません。
- お客様に適正な勧誘が行えるよう研修体制の充実や内部管理体制の整備に努めます。

当行では、皆様のご要望、ご相談にお応えするため、「顧客サービスセンター」を設置しています。銀行業務に関してお困りのことや、当行へのご意見、ご要望がありましたら、ご遠慮なくお申しつけください。

顧客サービスセンター

TEL 0776-25-5127

受付時間 9:00～17:00（銀行休業日は除きます。）

資料編

C O N T E N T S

コーポレートデータ

役員・組織図	22
関係会社の状況・従業員の状況・採用人員・沿革	23
店舗のご案内・キャッシュコーナーのご案内	24

主な業務のご案内

預金業務	28
貸出金業務	29
証券業務・国際業務	30
各種サービス業務	31
主な手数料	32

連結情報

平成16年度の業績等の概要	33
主要な経営指標等の推移(連結)	34
連結自己資本比率(国内基準)	34
連結財務諸表	35

単体情報

主要な経営指標等の推移(単体)	39
単体自己資本比率(国内基準)	39
財務諸表	40
損益の状況	44
預金業務	46
貸出金業務	48
国際業務・内国為替業務・証券業務・その他	50
デリバティブ取引	53
資本・株式の状況	54
法定開示項目一覧(索引)	55

(独立監査人による監査について)

当行は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第2条の規定に基づき、平成15年度および平成16年度の財務諸表について、新日本監査法人の監査を受けております。証券取引法第193条の2の規定に基づき、平成15年度および平成16年度の財務諸表並びに連結財務諸表について、新日本監査法人の監査証明を受けております。